

大村高校文理探究科 活動紹介

★学科独自の主な行事を紹介します ～文理探究科では「リアルな体験」を大切にしています～ ★

令和7年度～令和8年度5月までの実績をもとに
(令和8年度も同じ活動を実施予定ですが、※の付いた行事は実施無しの可能性あり)

1年生



文理探究科 全体集会

2年生



R8.5 実施(希望生徒)
海外とのオンライン交流会
相手校: 台北市立大直高級中学

4月

5月

英語で円滑なコミュニケーションをとれることを目指します!

6月



English Fair
(協力: 大村市教育委員会)

7月

筑波大学附属駒場中・高等学校との交流研修です!

軍艦島をどうするべきか? 様々な観点から考えます。



Next Generation Meeting
(協力: 長崎大出水先生、文化庁、長崎市役所 他)

8月

9月



水環境講座 I ※
(講師: 長崎大学)



訪問等研修
①県工業技術センター、②環境保健研究センター、③株式会社バイオジェノミクス、④校内学術講演
(R7年度 10月実施: ①③④)
(R8年度 6月実施: ①②④)

10月

研究施設、大学施設を実際に訪問します!

11月



英語プレゼン基礎研修
(講師: 長崎県立大学)

12月



高大連携研修 ※
佐賀大学海洋エネルギーセンター



高大連携研修 ※
長崎県立大学

1月



留学生交流研修 I
(連携: 鎮西学院大学)

2月

3月

課題探究 1・2年生 全校合同発表会

「理数探究」「国際探究」に分かれての研修機会があります。

コース別



科学探究講座
コンピュータ研修
(長崎総合科学大学)



国際探究講座
R7講師: 鎮西学院大より
台湾の経済や文化等について
台湾の留学経験談

コース別



高大連携研修(長崎県立大学)
理科実験・情報学



高大連携研修(長崎県立大学)
国際・社会学

コース別



水環境講座 II ※
(講師: 長崎大学)



留学生交流研修 II
(講師: 留学生: 鎮西学院大学)



科学プレゼン研修
(講師: 長崎大学)



英語プレゼン研修
(講師: 長崎県立大学 他)



海外修学旅行(台湾)



現地高校との学校交流時に、課題探究の英語発表を行いました。
交流相手の高校:
台北市立大直高級中学

現2年生(R8年度): 台湾
現1年生(R9年度): 台湾



2年文理探究科
課題探究発表会
(3年生6月の県発表 代表選考)

★ 卒業生が語る文理探究科の魅力 上位6項目★ | 1期生(令和8年3月卒業生)に卒業前に聞きました★

研修・大学訪問など
“体験型プログラム”が
とても多い

入試・進路にプラス
(アピール材料・
進路選択に有効)

探究活動等で
主体的に学べる

視野が広がり、
新しい発見・
興味関心に繋がる

学習意欲の高い仲間・
クラスの良い雰囲気

海外修学旅行・
国際交流が魅力

★「課題探究」が充実しています★

「総合的な探究の時間」は全国で実施されています

→ 大村高校での名称は「探究プラットフォーム」。課題探究の授業を全校挙げて行います。

文理探究科の1年生は週1時間、2年生は週2時間、3年生は週1時間、

文理探究科では、この課題探究の授業に充実して取り組めるように、手厚く工夫しています。

「課題探究」 自分(班ごと)でテーマ決めて、
研究の進め方などから全てを自分で取り組んでみる授業。

①「課題探究」に自信を持って取り組めるように SSH学校独自授業で手厚く鍛えます

サイエンス基礎(1年生) 週1時間

科学の身近な題材を基に、「物事をどうみるか」の視点を学びます。

実験方法の検討や、全体への発表などを何度も経験します。

「どうやって米粒の数を測りますか？」

「ほこり(埃)の動きをどう分析しますか？」 など



Omura Steam Labo(1年生) 週1時間

世の中に存在する課題は、答えが概ね1つに収まること、そうはならないことがあります。

そのどちらにも対応できるよう、考え方の基礎を養います。

【統計入門】 データをどう読み解くか。仮説検定を学び、アンケート作成・分析等に活かす。

【哲学入門】 複数の正しいような意見をどう尊重し、どう着地点を探すか。



中学生から寄せられる心配事 「人前で発表することに苦手意識があり、入学後に心配。」

→ サイエンス基礎、O.S.L.をはじめとする授業で少しずつ慣れていきます。授業内で少しずつ練習していきます。

文理探究科の先輩方も、入学から1年、2年と経ていくと、発表を堂々とできるようになり、成長していますよ!

②「課題探究」自分がやりたいこと 関心を持ったこと 取り組みます



物理 イオン風の研究 実験中(2年生)



化学分野の実験中(2年生)

3年生の主な探究題目(例)

「理想的なトイレの仕方〜水の飛び散りの防止〜」

「壁紙の模様と照度の関係性」

「コアマモのブルーカーボンとしてのポテンシャル」

「人間の感性と翻訳から探る日本語と英語の共通点」

「物価高の世の中で生き残る企業戦略」

「大村市の伝統芸能 郡三踊」

「旧円融寺庭園及び大村護国神社敷地内の史跡について」

③ 発表経験を他学科よりも多く積めます (探究活動では、文理探究科独自・SSH校独自の大会にも参加できます)

【校内】11月 2年生 英語プレゼンテーション研修

2月 1・2年生 合同発表会 ※全学科

3月 2年生 学科内校内課題探究発表会

7月 3年生 SSH成果発表会

【校外】5月 3年生 長崎県文理探究科高等学校探究発表大会 ※代表生徒

8月 3年生 SSH生徒発表会 in神戸 ※学校代表1チーム出場

8月 3年生 理数代表 中国四国九州地区理数科高等学校課題研究発表大会

8月 1・2年生 未来デザインイノベーションフェア

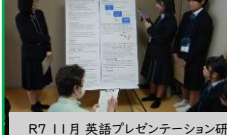
12月 (2年生 海外修学旅行での台湾の高校生への英語プレゼン(R7, R8年度))

3月〜 2・3年生 大学等主催の発表会、論文投稿などに出席(任意)

R7 8月 中国四国九州地区理数科
高等学校課題研究発表大会 愛媛大会



R7 11月 英語プレゼンテーション研修



R7 11月 英語プレゼンテーション研修



R7 1年生サイエンス基礎 授業内発表



R8 6月 長崎県文理探究科高等学校
探究発表大会



R7 12月 修学旅行時の現地高校生
への英語プレゼンテーション

他校も、台湾への修学旅行が多くな
ってきていますが、「探究の成果発表を
現地で言う学校」は非常に珍しいです。

誰かに向けて発表することで、自分の中で、研究に対する考え方がまとまります。

大学受験の面接などで「いかに自分の中で『深い思考』がなされているか」

「研究に対して、筋道が通った考え方をしているか」等が問われるようになっていきます。

受験だけでなく、大学進学後には、自身で研究する場面が増えてきます。

そのときにも、課題探究の授業で培った経験が活かされます!